

(学年) 第3学年、(教科・科目) 技術家庭科・家庭分野

協働学習

(単元) 家族と安全・快適に住もう

(本時のねらい)

家庭内事故の防ぎ方など家族の安全を考えた住空間の整え方について理解し、工夫して考えることができる。

(ICT活用方法)

室内の状況を想像しやすいように立体的な図を提示し、一人一台端末を用いて危険箇所を探させるようにした。

グループの考えを電子黒板に投映して全体で共有し、新たな気づきを整理させた。

(本時の展開)

時間	学習活動	指導事項	I C T活用方法
導入 5分	・本時の学習課題を確認する。	<ul style="list-style-type: none"> ・住まいの中のヒヤリ・ハットについて、自分の経験を振り返らせながら課題を確認する。 ・家庭内事故と交通事故での死亡者数を比較したグラフを提示することで、家庭内の事故が自分や家族にも起こり得る身近な問題であることに気付かせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・電子黒板への教材の提示
展開 40分	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭内の事故について知る。 ・家の中の危険箇所と事故の種類を見付ける。 	<ul style="list-style-type: none"> ・図や写真、グラフを活用して住まいのどこで、どのような事故が起こりやすいのかを提示しながら説明する。 ・家庭内で起きやすい事故の種類を分類・整理しながら、キーワードを後の学習活動に利用できるように黒板に提示する。 ・室内の状況を想像しやすいように立体的な図を提示し、一人一台端末を用いて、危険箇所を探させる。 ・幼児や高齢者など様々な年齢で構成される家族が暮らす住空間を提示することで起こりやすい事故が年代によって違いがあることに気 	<ul style="list-style-type: none"> ・立体的な図を電子黒板に提示し、一人一台端末と図を共有しながら考える。

	<ul style="list-style-type: none"> グループで、家庭内事故の要因や防ぎ方について考えをまとめる。 個人で、家庭や学校での事故の要因や防ぎ方について考えをまとめる。 	<p>付かせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 一人一台端末を用いて、グループ内で住空間を分けて要因と防ぎ方を考えさせる。 幼児の体や行動の特徴、高齢者の身体的機能の低下等について助言する。 グループの考えを全体で共有し、新たな気づきを整理させる。 個人の考えを発表し、全体で共有させる。 	<ul style="list-style-type: none"> 一人一台端末を用いてグループ内で意見を共有する。 一人一台端末を電子黒板に投映し、全体と共有する。
まとめ 5分	<ul style="list-style-type: none"> 本時を振り返る。 	<ul style="list-style-type: none"> 学びの振り返り（まとめ）シートを記入させる。 	

（授業の様子）



教材投影方法



板書とICT

（生徒の反応と課題、改善を要する点）

立体的な図を提示して説明したことで、生徒のイメージがつかみやすくその後の学習につなげることができた。